

定例工学研究科教授会議事録案

日 時 平成15年12月10日(水) 14時31分～14時50分、
15時20分～16時47分

場 所 工学部大会議室

出席者 宮城研究科長 ほか110名

欠席者 22名

外国出張 4名

1. 前回記録確認

議長から、平成15年9月10日(水)開催の定例工学研究科教授会議事録案について諮り、原案どおり承認した。

2. 人事異動

議長から、人事異動について、配付資料に基づき報告があった。

3. 委員会等報告

次の委員会から補足説明及び追加報告があった。

[研究科内委員会]

(1) 先端学術融合工学研究機構運営委員会(平成15年12月5日)

委員長から、継続審議になっている、機構の運営体制、事務、運営資金、プロジェクト研究資金などについて審議し、文言の修正の後、運営委員を通して各系に諮っていることが報告された。

(2) 学部大学院制度委員会(平成15年12月5日)

委員長から(1)現研究科長と現評議員(後任)のそれぞれの任期について、来年4月の法人化移行期の考え方について審議し、現研究科長については平成16年11月までの任期とすること、現評議員(後任)については研究科長選挙制度WGで継続審議とすること、(2)研究科長候補者の選挙制度については研究科長選挙制度WGで継続審議することが報告された。

(3) 教官研修検討ワーキンググループ(平成15年10月17日)

ワーキンググループ長から以下の報告があった。

- ① 来年度4月の恒例の新任教官研修について種々審議し、開催日は4月2日とし、内容を新任教官により相応しい内容に修正することとした。
- ② 来年度は法人化を迎えるので、法人化に伴う種々の制度変更について研修するための全教員対象の教員研修を年度初めに別途開催することとした。恒例の新任教官研修の研修内容のうち、制度変更に関係するものは全教員対象の教員研修に移行するものとした。
- ③ 以上の2回の研修の具体案をWG長と事務とでたたき台を作成することとした。

[全学委員会]

(1) 百年史編集委員会(平成15年11月19日)

「部局史三」の本部への原稿提出期限が平成16年3月末日で、その1年後に刊行する予

定である旨報告があった。

4. 審議事項

(1) 助教授の任用について

議長から、助教授候補者（3名）の任用について提案があった後、当該専攻から人柄等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

(2) 工学研究科・工学部の運営体制について

議長から、工学研究科・工学部の運営体制について提案があった後、理念ワーキンググループ長から改革の理念（案）について、策定ワーキンググループ長から運営体制（案）についてそれぞれ配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、運営体制（案）の図について、運営会議の副研究科長の括弧書きの「評議員、センター長、研究科長指名の教授」を削除することとした。

次に、議長から、評価室を平成16年3月31日までの間試行的に立ち上げること及びその室長について提案があり、審議の結果、これを承認した。

5. 報告事項

(1) 各種研究員の受入れ報告について

議長から、各種研究員の受入れについて配付資料に基づき報告があった。

(2) その他

○法人化後の教職員定数の配置について

事務部長から、法人化後の教職員定数の配置について配付資料に基づき報告があった。

○学内非常勤講師手当について

事務部長から、学内非常勤講師手当について配付資料に基づき報告があった。

○セクハラ事件について

議長から、部局間にまたがったセクハラ事件が起きているので、セクハラが起きないような環境作りに努めてほしい旨要請があった。

○21世紀COEについて

議長から、平成16年度の21世紀COEについて、申請概要を12月22日までに提出願いたい旨要請があった。

○学位記授与式について

議長から、15年度の学位記授与式について、平成16年3月25日（木）午前10時から学士、修士及び博士合同で実施予定である旨報告があった。

○東北大学先進医工学研究機構について

議長から、東北大学先進医工学研究機構のタスクテーマの採択及び2次募集について報告があった。

○医学部金銭受領問題について

議長から、12月9日に開かれた評議会懇談会において、医学部の金銭受領問題について話し合われた旨報告があった。

○法人化後の事業場の設定及び運営費交付金について

議長から、法人化後の事業場の設定及び運営費交付金について報告があった。

○臨時研究科教授会について

議長から、法人化に伴う規程改正を審議するための臨時研究科教授会を平成16年2月に開催する旨発言があった。

以 上